

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートE p e r s		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置について、資格要件、実務経験、職員数ともに配置が充実している。	・余裕を持った職員採用をおこなっている。 ・経験者を中心に採用をおこない、さらに専門性を高めるための研修を月に2回おこなっている。	・研修の充実によりさらに専門性を高めることで、職員のやりがい、向上心を持続できるようにしていく。 ・常に“子どもまんなか”をモットーに、職員間が意見交換やコミュニケーションを図れる環境をつくり離職率の低さを継続できるよう工夫していく。
2	ひとりひとりの子ども理解を重視し、子どもの特性等に 応じたオーダーメイドの支援をおこなっている。	・児童発達支援管理者を中心とし、職員全員で一人一人のお子様のアセスメントや課題分析を行い、支援計画に盛り込んでいる。 ・職員全員で一人一人のお子様に対するの支援会議や事例検討会をおこない支援内容を検討している。	・社内外の研修や勉強会に参加するなどして職員の専門知識を身につけるとともに、外部機関との連携もおこない客観的で専門性の高い意見も参考にしながら、アセスメント力を強化していく。
3	生活空間、環境が安全で過ごしやすく、活動スペースの確保がしやすい。	・日々の清掃や整理整頓に心がけると同時に、活動内容に合わせて空間を広げたり仕切ったりし過ごしやすい環境作りに努めている。また、お子様それぞれの特性に合わせ、表示などで視覚支援をするなど工夫している。	・様々な年齢や特性などに合わせて、それぞれのお子様にとって安心できる環境となるよう、空間作りを工夫していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会をほとんど持っていない。	地域との交流のための準備ができていない。(各方面との連絡調整)	地域の情報収集をおこない、交流方法について近隣保育所等と相談し計画していきたい。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催など、保護者同士の交流の場が十分に設けられていない。	今年度は2回保護者参加の行事を実施したが、参加できていない方も多く、実施日や時間帯、内容、頻度など、多くの方が参加しやすいものになっているか見直しが必要。	年間スケジュールを立て、来年度は頻度を高めていきたい。また参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容などを保護者にアンケートを実施し、より『参加しやすい』『参加してみたい』内容となるよう計画していく。
3	事業所でおこなわれている非常災害発生にむけての備え、定期的な避難訓練等について、保護者に十分周知できていない。	定期的な研修や会議、毎月行われている避難訓練などについての情報発信が足りていない。	事業所の取り組みを随時発信していき、保護者様に安心してお子様をお預けいただけるよう工夫をしていく。